

2014年度 夢プロジェクト 最終報告

宮應誠人(経済学部所属 漫画研究部)

これまでの出来事の振り返り

- 元々は11月文化祭時に情報処理部の金子氏と手をを取り「明海大学デジタルメディア機関設立プロジェクト」としてスタートした企画だった。

漫画研究部は「マスコットキャラクター製作」という名目で協力をする事となる

- 具体的な活動として「大学公認を目指したPRキャラの作成」、「大学のPVの制作」、「卒業生の仕事紹介PVの制作」を掲げた

2013年11月～3月まで

- ・12月に行ったプレゼンテーションで2番のPVは大学公認の施設や授業を大学の意図に合わせて作るのには難しいと判断し、PVは「学生が自主的に行う部活」に絞ることとなる
- 2014年3月31日 一身上の都合により金子氏、折田氏の情報処理部協力者2名が夢プロジェクトから抜け、これ以降夢プロジェクトは漫画研究部主体となる

夢とは何か？を再確認

- 漫画研究部が主体となったので

「我々の夢とは何かを再確認」

1. PRキャラの作成

→漫画研究部が創出したキャラクターが大学公認になるのは嬉しいことなので是非行うこととなる

2. 部活動PVの作成

→私(宮應)自身、2013年度のサマーキャンプで部活動に入る生徒が年々減っているということを聞き、この状況を打破したいと考えておりましたので、これを機にPVを作成し

一般生徒に我々の活動を知ってもらいたい、と考えました

具体的な活動

- ・漫画研究部内で3体のマスコットキャラクターの作成を行いました。このキャラクターは動画内で登場させ、一般生徒に認知して貰う等といった展開を考えております。
- ・2014年4月から10月にかけて、学術文化連合会内の部活動を回り、インタビュー動画を作成しました
- ・5月の進捗報告でインターネット展開について話しましたが、様々な部活動からプライバシー面から反対があったため、見送ることとなりました

成果物について

- 学術文化連合会インタビュー動画
「ぶんれん動画」の完成
本発表の最後に公開
- 本動画はDVDにして文化祭期間中文連団体の
ブースに無料配布として置かせていただく
- これが我々の夢であった「部活動に興味を持つ
生徒の増加につながるかはまだわからないが、
良い結果となればと思う

今後の展開について

- ・文化祭で配布しきれなかった余ったDVD
を来年の新歓等で配布する方針
- ・夢プロジェクトとしては一旦我々の活動は
幕を閉じることとする
- ・体連や委員会なども撮影を行う日があれば
行う予定ではある(具体的な日付は不明)
- ・マスコットもいつか大学公認となればと思う